

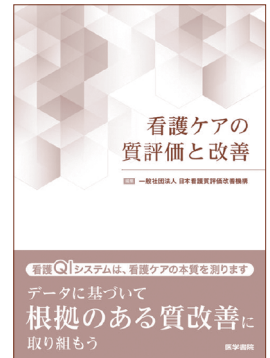
新刊紹介

新刊紹介

看護ケアの質評価と改善

編集 日本看護質評価改善機構
発行 医学書院
定価 3300円(本体3000円+税10%)

優れた看護ケアとは？ 看護ケアの質とは何か？ 日本看護質評価改善機構は、看護ケアの質を測定し、そのデータをどう評価し、改善につなげるかをテーマに探求を続けている。本書では、質評価の仕組みを詳細に解説し、巻末の「評価項目一覧」を、施設の質改善に活用することを提案する。



基礎からの看護保健統計学

データの基本から多変量解析まで

著 松本秀明、須藤真由美、松本勇樹
発行 東京図書
定価 2640円(本体2400円+税10%)

IT技術の進歩により医療データが数値化され、医療実践において統計の知識と技術は必要不可欠になった。看護系学生は、卒業研究や看護研究(量的研究)において統計学の基礎知識が欠かせない。本書は、基本的な統計から多変量解析の基礎までをやさしく解説する、学生時代から第一線で活躍するまで活用できるテキスト。



クロニックイルネスにおける「言いづらさ」と実践領域モデル

編 黒江ゆり子
発行 みらい
定価 6050円(本体5500円+税10%)

クロニックイルネス(慢性の病)とともにある人たちは、自らや家族の病を他者に話すことに「言いづらさ」を抱えている。ケアのなかでそれに気づく看護職者にも「言いづらさ」「聴きづらさ」がある。両者へのていねいなインタビューから、どのような難しさがあるかを明らかにし、それらをふまえた支援のあり方を探る。



シリーズ 大学教育の質保証・1 カリキュラムの編成

編著 中井俊樹
発行 玉川大学出版部
定価 2200円(本体2000円+税10%)

大学教育の質保証を推進する教職員に必要な知識を提供するシリーズの第1巻。大学が主体的にカリキュラムを編成するための実践的な方法を体系的に解説。カリキュラム編成の基本的知識とさまざまな編成方法の選択肢を提示し、大学や学部などの特徴にあった編成を支援する。

